

## 1. 病棟の具体的な目標と評価

## 1) 安全で質の高い看護を提供する

COVID-19 はスタンダードな治療に加えて中和抗体についての知識が必要となり、薬剤師に勉強会を依頼した。PPE 着脱や COVID-19 患者の看護について知識・技術の教育を行った。現在院内感染は起こっておらず、今後も定期的に知識・技術の確認と教育を行っていく。また、患者層の変化により、当院に期待される妊婦受け入れに伴う処置等について他部門と共にシミュレーションを行った。その結果 COVID-19 陽性妊婦の出産・帝王切開後のベビーの受け入れが安全にできた。退院時には助産師や ICT と連携し適切な退院指導を行うことができ、母親の不安を軽減することができた。今後も定期的に学習会やシミュレーションを行っていく。

## 2) 病院経営に参画する

疑似症患者 1636 名・COVID-19 陽性患者 125 名の受け入れを行った。入院患者は出生直後から 96 歳までで社会情勢の変化に伴う病院の方針に従って病床運営ができた。また認知症ケア加算の対象者 5 名、排尿自立指導料は 12 名、入退院支援加算は 104 名、せん妄ケア加算は対象者すべて算定することができた。褥瘡管理に対しては乳児の入力漏れがあり、委員を中心にスタッフに周知を行い、後期は入力漏れがなかったが引き続き各委員が算定漏れのないよう指導を行っていく。

## 3) 患者の視点に立った医療安全を推進する

3b 事例のインシデントを起こすことはなかったが、その可能性に繋がると考えられたインシデントに対しては ImSAFER を用いて 2 事例の分析を行い、スタッフ全員で共有した。ヒヤリハット事例が発生したときは、スタッフ主体的な分析による振り返りを行い、その結果をスタッフ全員に注意喚起を行った。転倒転落に関しては、入院時に PNS ペアで自立度の確認と転倒転落の評価を行い、必要時は患者と家族に同意を得て、離床センサーやカメラの設置を行った。認知機能低下のある患者に対しては行動を予測して訪室回数を増やすなどの対策を行い、転倒転落のインシデントは 1 件のみで目標は達成できた。確認不足による薬剤のインシデントが 6 件であった。スタッフの確認方法を調査した結果、急いでいるときの確認不足が多いため、正しい確認方法が習慣化できるように内服時の患者確認のチェックをスタッフ同士でお互いに行えるように PNS ペアで実践した。目標は達成されたが、確認不足によるインシデントを防ぐために引き続き確認と指導を行っていく。褥瘡とスキんテア発生率は 0 件であった。

## 4) 専門職として能力開発に努める

看護協会での研修には 22 名が参加した。中止になった研修もあったが、オンラインでの研修を促し調整した。2~3 年目看護師の看護実践力の向上の一つとして部署間支援での学びを取り入れ、それぞれの病棟で学んだことや疑問に思ったことなどを確認し、振り返りを行ったことで学びを深めることができ実践に活かすことができた。中堅看護師については、疑似症や陽性患者エリアでサブリーダーとして役割を与えたことで自己で考え行動することができ、主体的にリーダーシップを発揮することができた。COVID-19 陽性患者急変時のシミュレーションのマニュアルを参考にシナリオを作成して 2 回実施した。学会発表は「A 病棟の認知症ケアの現状把握とケアの検討」について看護協会で発表した。看護研究を行ったことで病棟の強みと弱みが見えてきたため勉強会を実施し、日々のカンファレンスを利用して統一した関わりができるようにスタッフに応じた指導ができた。今後も継続して、患者にとって安全・安心な看護が提供できるように関わる。

## 5) 看護の先輩として学生実習に携わる

COVID-19 疑似症を受け入れる関係で前期実習が成人Ⅲ4 クール目にて中止となった。

## 6) 活気のある職場・元気の出る職場づくりを推進する

効果的なりしゃっフルで超過勤務することなく業務調整ができた。

## 2. 病床運営状況

表1 令和3年度 病床運営状況

収用可能 病床数(床)	診療科名	月平均		平均在院 患者数(人)	平均在院 日数(日)	病床利用率 (%)	病床稼働率 (%)
		新入院患者数(人)	退院患者数(人)				
30	内科系混合	152.8	17.1	4.9	1.7	16.2	18.1
有料個室		死亡者数(人)					
病床数(床)	稼働率(%)						
30	28.5	1					

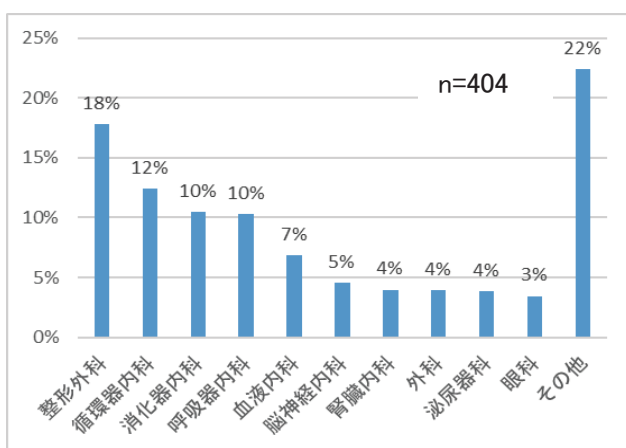


図1 令和3年度受け入れ診療科内訳(入院患者数)

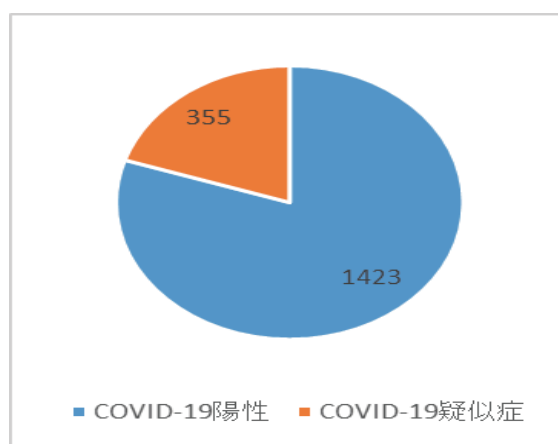


図2 令和3年度 COVID-19 陽性・疑似症内訳(在院患者数)

## 3. 看護体制

表2 令和3年度 看護体制

配置人数(人)	看護方式	夜勤体制(準:深)
26	PNS <sup>®</sup>	3:3

## 4. 看護統計

### 1) 重症度、医療・看護必要度

表3 令和3年度 一般病棟 重症度、医療・看護必要度Ⅱ

基準を満たす 患者の割合(%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	55.7	53.4	20.9	53.8	40.3	61.5	30.0	34.3	31.4	19.4	17.0	17.6	37.3